社說

又も豫算不成立か

議會の形勢はいよ〳〵開會の上ならでは知る可らずと雖も世間の說に據れば十の八九は先づ解散の方なる可しと云ふ自から時の成行にして致方なけれども何分にも因却に堪へざるは豫算不成立の一事なりいよ〳〵不成立の場合には前年度の豫算に由るのみにして之が爲めに行政機關の運轉を止むるにも非ず別に甚だしき差支もなきが如くなれども其前年度の豫算とは如何なるものなりやと云ふに國會開設以來政府の提案は每度議會の反對に遭ふて首尾よく成立したるの例は甚だ稀れに新事業の施設計畫の如き全く高閣に束ねらるゝの姿にて空しく歲月を經過する其中に日清戰爭破裂の爲めに官民の紛擾は一時跡を收めたれども拔戰後の經營に就ては一方に軍備擴張の必要と共に一方には政府事業の擴張改良を謀るみな國力の膨脹に伴ふ自然の結果なるに政府の所爲を見れば甚だ小膽にして軍備の擴張は止むを得ずして決行したれども他の事業に至りては只消極を旨として前年來の成案を踏襲したるに過ぎず而して其成案とは議會以來年々殆んど同一樣にして更らに進歩を見ざるものにみそれば實際に於ては議會開設前の成案と見るも可なり顧みて我國力の進歩を見れば敢て進んで止まらざるのみか戰爭來大に膨脹の勢を呈して全く面目を一新したる今日に至り依然數年前の成案を其儘に株守するとは堪へ難き次第なりと云ふ可し聞く所に據れば明年度の豫算には遞信費の如き從來の額を增し又電信改良費を支出して郵便電信業の擴張改良を謀るの計畫なりと云ふ僅々の增額實際に如何なる成績を收め得べきや高の知れたるみならんなれども兎に角に幾分か目下の不便を感ずるの故はある可し現政府の事業として見る可きものは先づ此一事ぐらゐのみなるに豫算不成立の曉には此一事さへも行ふ能はざるに至る可し其他各省の經費に至りては人民の便不便に直接の關係なきが如くなれども政務上には非常の差支を生じて實際に不都合なきを得ず例へば各地方に出張して事を視る可き官吏の如き定員の數を具へながら出張の旅費を得る能はずして事の遲滯と共に無數の官吏をして閑散に苦しまし又新稅法を發布しながら之を徵收するの手續を爲すを得ずして豫算の收入を收むる能はざる如き奇觀もあり可し特に軍事費の如き其差支は非常ならざるを得ず前記の如きは單に吏員を遊ばせ置くか又は豫定の收入を得ざるのみに止まれども軍事費の重なるものは兵員の食料被服等にして擴張の計畫、物價騰貴の結果として自然に增したるものにみそれば若しも前年度に據るときは計畫に隨て徵集したる幾萬の兵員をして衣食の供給に事を缺て饑寒に泣かしむるが如き不都合も出來せざるを得ず或は右等の場合には豫備費にて支辨するなり又いよ〳〵必要の費目は臨時緊急の支出を行ふて之を補ふなり止むを得ざる場合には自から止むを得ざる手段もあらんなれども事を事に其手段は一時の間に合せに過ぎずして斯る一時の間に合せは寧ろ他日の大損を招く可きのみ喩へば車馬を乘下の道路の修理に勞費を吝むみて修繕改築を怠り單に間に合せ首尾のみにて經過したるが故に今日の如き大破損を致して大に修覆の費用を要するに至りしみとなり百事膨脹の今日に恰も數年前の成案を其儘にして單に一時の彌縫を謀るときは他日大に大修繕を施すの必要を感ぜざるを得ず國家經營の道に非ざるなり此有樣を如何す可きやと云ふに政府の輩よりすれば國事を弄ぶの罪は議會に在りと云ふみとならんなれども議會に於ては斯る不信用の政府には國事を託す可らずと云ふみとならん共に水掛論にして其是非曲直は孰れに在るや知る可らずと雖も既に國會を開て政府の會計を識せしむるの端を開きたる上は兎に角に議員多數の同意を得ずして事を行ふ能はざるみと勿論なれば眞實議會を操縱し得るの有力者をして局に當らしむるか又は議員の智識を高尙にして事の輕重を分別する人物を選ぶの外なけれども双方共に容易に望む可らざるが如し左りとて此儘に經過するは甚だ堪へ難き次節にして或は國民をして立憲政治を厭はしむるに至るが如き成行も圖る可らず經世家の大に考ふ可き所のものなり

○市街鐵道の公說 (三)

イー ヒギンス氏述

世人は概ね市街鐵道の收益について途方もなき過大の想像を畫けるが如し察するに所世人は我米國市街鐵道の資本額が此十年間に急速の增加を爲し四億萬弗より十四億萬弗に上りしを見又數多の有力家及び買占組合の類が市街鐵道を繰りて巨萬の富を致したるを見而も其富を作りたるは人民の代表者たる議會より勝手千萬なる特許を得たるに在るを見一概に市街鐵道は收益多きものと思込みたるなるべけれども元來鐵道株の高下は決して其收益に伴ふものに非ず況して近時の如き鐵道熱全盛の時代には未來に對する希望信向等常に甚しく實際に過ぐるものなるを忘る可らず然るに世人は此等の事情には頓着せず漫然鐵道の巨利を占むるとを信じ剩市民代表會其他公設の團體が一樣に之を確かむるが如き回文を配付するが故に彌々以て市街鐵道は不當の利益を收むるものと心得る人多くなれり市民代表會其他の團體は何れも皆公益を圖るといふ堂々たる目的を有するものにして其目的の正當なるは勿論なれども不幸にも其會員何れも皆忙しき人々にて市街鐵道問題を精密に研究するの餘暇なし此等の人々が彼代表者集會に出席し未熟の頭腦にて評議する事なれば其決議の迂濶なる間々抱腹に堪へざるもの有り一例を示せば本年七月十七日紐育市に於て開會せる「特典公有期成會」の名義を以て配付せる檄文の冒頭に實に左の如き文字あり

最も著實なる識見家の說に據るに市收入現額の半は市街鐵道、瓦斯其他特別の恩典に浴する營業者より徵收するるみとを得べし果して然らば私有財產に對する課稅は現時の半額迄輕減するを得んや

我市民に取りて前條よりも一層重要なる問題は交通及び動產の全權を公有に歸せしむるに在り若し之を實行するを得ば乘車賃及び瓦斯點火料は直に現今半額となるべし

實に呆れ果たる暴論なり慶ふらくは右期成會の會長先生は現今紐育市徵稅の總額は一ヶ年四千五百萬弗にして市街鐵道、瓦斯及び電氣鐵道の收益は（資本の利足並に配當を外にして）僅に千八百萬弗に過ぎざるの事實を知らざるならん加之若し一切の市街鐵道、瓦斯、電氣會社を買收するとせば實に非常なる巨額の資本を要するなるべく紐育市の如き立派なる信用を以て借入るゝも年々其利足の爲に引去らるゝ金額は千八百萬弗の過半に及ぶ可し是にても猶市稅半減の行はるべきや而して更に問ひたきは此の如き事情の下に在て彼期成會の副議長先生はよく進んで支配の任に膺り誓言の如く乘車賃及び點燈料を半減し得べきや何れも甚覺束なき事なり然し今是等の人々を論倒するも氣の毒なれば予は鷹揚に、忍くは先生方は餘り本業の忙しさに本問題を研究する遑もなく又膝々と自ら署名したる文言を熟讀するの時間をも有せず爲に此の如く間違を生じたりと假定し置べし

又一つ世の所謂市政改革黨なるものが愚民を煽動せんと企てたる例を擧げんにシカゴ府に「車賃三錢會」といふ其名からして狂氣じみたる協會あり此協會の內に啓蒙部といふもの有り下等社會に入智惠するを專務とする所なるが先頃此都內より發したる檄文みそ面白けれ其文に曰く

シカゴ鐵道役員の聯合報告に據れば市街鐵道は其收入三割の純益を得るなり即ち公衆より彼等に支拂ふ一定五仙の乘車賃の三割は彼等の利する所となる勘定なり彼等の帳簿によるに乘客一人に對する運搬費用は三仙半に當る然れば一人に付て利益は一仙半にして即ち運搬原費の四割三分に當るなりされば假に右の三仙半を不當ならざる見込と許し之に七割の利益を加ふるも猶僅に三仙四分の三即ち乘車七回に對し二十五仙となるに過ぎず公衆は宜しく速に車賃の減額を議決宣告せざる可からず云々

是れ實に商賣の原則を無視せるの論鋒にして苟も公益を看板に掛くる人物には似合しからぬ事なり鐵道會社も彼等一個人も同じく一種の商賣を營むものなるに無法にも多數を以て之を壓倒し己等が利益の奴隸となし國家的奉公を爲さしめんとするは無識も亦甚しといふべし

右は畢竟世人が市街鐵道の歷史に暗く其營業の實況即ち資本募集の事、收益の事、營業費の事、借入金返濟の事等に通曉せざるより起る迂なるべけれども左に其概概を記述し些か初心なる鐵道會社の株主及び世の資本家中此邊に不案內なる人々に示さむ

市街鐵道なる事業は千八百七十年（明治三年）前は實に微々たるものにして動力に馬を用ふるの一方ありしのみ然るに千八百七十年より八十年（明治十三年）に至る十年の間に動力を改良するの工夫起り採略多きサンフランシスコにて創めてケーブル（金屬にて車を牽くの綱）式を用ひて好結果を得たるより追々各所にケーブル式市街鐵道の流行するみとゝなり同時に少く電氣を應用する者ありしが其の電氣時代と稱すべきは千八百八十八年（明治二十一年）以來の事なり

さて當時の馬車鐵道會社は資本傾に水を加す事をせず却て事業擴張を行ふの便利を圖りて常に財產を內囊に蓄へ加之當時は塵末に迄線路を敷設する義務を負はず營業の區域は入脚繁き本線に限りそれは大市街の會社に在ては實際收益の割合に利益金の過ぎざるのに在ても其線路買通の監督も行屆くが故に有りし然し其營業の僅少なるものにて時は全く配當のなき事も有りては收利の見込全くなきざりし千八百八十一年社の純益平均八割八分なりしが今は平均六割六分なりて一見甚だ不審なれども追て語るべし

電氣動力の市街鐵道を以てアメリカの天才エディソン說と雖も手で栗の勘定をして雨の如く資本を投じたるコンデケート（買鐵道を買入れて電氣しき爲に各馬車鐵道組織を變ずると共に其他市街鐵道の用具さん許にて其品物のものなく參ひ合ふが持主は此有樣に一驚を一變し各般の注文狼狽（出し幾百千弗）の鐵道に適當なる軌磅のガーダー レーも堪へ得べしといふ十磅の岩狀なるものせられしも此時に起其騷ぎ方敢て工場にく使ふて十分なる機つて忠告を與（或は不經濟なりとかいふ常なる敵財を爲したするは決して不當に何れが眞に良好なるの出來ぬ事なりしなく慣習に投じたるもの事と知るべしかく失のつけかけも行はれなれば恰も鏡石に水をしなり

さて此暈池の雲霧たる市街鐵道の本體千弗（內五萬四千弗